2



1

大分合同新聞社主催)は 県内25の小中高校から

議会、県高校文化連盟、 第7回県学校新聞コンクー (県NIE推進協

で3件、調べ学習の成 35件、858点の応募 行する「学校新聞部門」 徒会などが継続的に発 があった。新聞部や生

学校新聞部門

▽学校内だけでなく地域

1

大分上野丘高

上野丘高新

聞

大分豊府新聞

ている▽生徒会活動や部活ている▽生徒会問題も取材し社会に広く問題意識を持っ っている 年、新聞部=顔写真) のみならずオリジナルの特 員5人で短期集中して作成 が個性的▽取材の深さが光 集が面白い▽見出しの表現 しています。読者の視点に 代表・森宗楓矢さん(2



立ち、伝えるべきメッセー 活動や地域の取り組みなど ます。これからも、学校の ジは何かを考え、 多面的に切り込んでいきた 紙面になるよう心掛けてい 魅力的な

り完成度も高い▽発行頻度

勢にまで目を向けてお校内行事だけでなく社

れを簡潔に表現するように

大分豊府高

心掛けています。

また、

紙

▽レイアウトが美しい▽

2年 普段から取材相手の伝え り入れている

たいことを正確に捉え、

られる▽レイアウトが良く 表・佐藤史里沙さん 除られている▽遊び感 活動の活発さが感じ い▽見出しの表現が 新聞部-顔写真)



れています。これからもいイアウトや装飾にも力を入 ていきたいです。

知る」「考える」「楽し 生徒会の活動を「伝える」

面が華やかになるよう、レ 見出しのレベルが高い▽発と写真のバランスが良い▽ 行頻度も高く学校の様子が 生き生きと伝わる▽校内だ 写真も大変目を引く▽記事 ながりも見られる けでなく高校や地域とのつ 代表・川村あやさん 前生徒会長=顔写真)

ことを願っています。

生徒会新聞のお

3

しました。 む」ことを目的に昨年創刊

過ごすためにも発行が続くます。学校生活をより良く じてもらうことができていかげで、生徒会を身近に感

賞校の紙面を紹介する。 で2件をそれぞれ最優秀賞に選んだ。最優秀賞受 果などを新聞にまとめる「オリジナル新聞部門」

上野丘高新聞

分上野庄 新聞部 写真部

学校が楽しい92% Full Force 全力で駆け抜けた3時間 特中タイムス 符中タイムズ 最高の体育大会! 山香中とビーコンで演奏 マ曲は「空に笑えば」 3

大分豊府新闻

第199号 編集・発行所 人 9 年 年 人 2 年 年 人 2 年 年 日 第 冊 大 2 年 章 大 2 年 章

感染付策の夏

後期生徒会いざ

記「自分の視野を広げたい」

大分豊府新闻

第191号 編集・発行所 大分析 5 大分析内表型的 新聞 2 伊 期 所 大 分析 5





上野五高新聞

発行 大分上野丘高門 新草部 写真部 発行責任者 森宗 模矢

落語ワールド

弟 /0回県子校新聞コンクールの人員校と新聞名	
学校新聞部門	
最優秀賞	大分上野丘高/上野丘髙新聞 大分豊府高/大分豊府新聞 杵築中/生徒会新聞 杵中タイムズ
優秀賞	佐伯鶴城高/佐伯鶴城新聞 国東中/国中TIMES 別府市東山小/東山子ども新聞
入選	玖珠美山高/みやま新聞 国東市安岐中/校報 暁雲
奨励賞	日田高定時制/「みんなで作る生徒の新聞」という新聞 姫島中/やはず 佐伯市明治小/広報新聞
オリジナル新聞部門	
最優秀賞	臼杵市野津中/地域調べ新聞 臼杵市下南小/下南防災新聞
原玉堂	竹田市緑ケ丘中/荻町のキラキラしている大人新聞

ジナル新聞部門

大分市野津原小/食べ物変身新聞

大分市王子中/高校体験入学新聞

大分市戸次中/おすすめの曲紹介新聞

大分市鶴崎小/つるさき新聞・のつはる新聞・修学旅行新聞

▽地域に目を向け現地で

4

臼杵

市野津中

5

災新聞

臼杵市下南

た。ネット上に資料が少な

現地調査や市役所へ話

大分市戸次中/修学旅行新聞 大分市大道小/学校行事をまとめよう

大分豊府高/大分豊府高校1年生OC新聞

掲げられている吉四六かる ている▽分かりやすい 数の視点で記事を組み立て あり読んでみたくなる▽複しい▽レイアウトに工夫が 作り手の個性が出ていて楽 み応えがある▽一部一部に も取材している▽内容に読 たの看板について調べまし 代表・楠本玲大さん



を聞いたりすることで、野と調べたり、他の班の発表 を聞きに行きました。友達 にくさんの魅力を知り

年=顔写真) 大震災について調べ、高速年=顔写真) 阪神・淡路 道路や大きなビルがこんな しが印象的 代表・甲斐哲心さん(4

タや図で示しており読者に る▽防災の恐ろしさをデー ビューなどよく取材してい 自分たちの体験に根差した よく伝わる▽目を引く見出 ものになっている▽インタ ▽調べたものだけでなく

や消防署、県立先哲史料館、 のかと驚きました。市役所 ふうに倒れてしまうものな

思い知らされました。 災害は身近なことなんだと についての話を聞き、自然 地域の方にも臼杵市の災害

生活の中の感動、悲しみを大事に

佐藤由美子·県NIE推進協議会副会長

(大分市戸次中校長)

第70回県学校新聞コンクールで素晴ら しい成果を収められた皆さん、おめでと うございます。ご指導いただいた先生方、 応援してくださった保護者の皆さまにも

感謝申し上げます。 この1年、学校は新型コロナウイルス の影響を大きく受けました。当たり前だ と思っていた日常が決して当たり前では ないことを痛感し、今できることに精い っぱい挑戦し続けています。

そんな中で制作された新聞…。学校行 事の中止や、活動に制限がある中でも「新

間で今の気持ちを伝えたい!」という情 熱を感じました。かえって、今回でなけ れば作れなかった新聞かもしれません。 自分たちの住む地域や校内に目を向けた り、身近な問題を深掘りしたりと良い点 もありました。

これからも、日々の生活の中の【事実】 に感動する気持ち、喜びもあれば驚き、 時には悲しみや怒りや、疑問を感じる心 を大事にしてください。そして、多くの 人に読んでもらうための工夫、【言葉を 吟味し厳選する】ことを続けていってほ しいと願っています。

審査員(敬称略)

佐藤由美子(県NIE推進協議 会副会長、日本新聞協会認定N I Eアドバイザー)

田辺玲子(県教育センター教科 研修部指導主事兼課長補佐、同) 道中聡(県高文連新聞専門部専

西裕一郎(同常任委員、大分豊 府高教諭) 北崎貴寛(同、大分上野丘高教

門委員長、大分舞鶴高教諭)

佐々木稔(大分合同新聞社執行

役員編集局副局長)